

笹田トヨ子議員 12月一般質問予定事項

1. 件名 合併問題について

=要旨=

1. 今回の住民意向調査結果で、30万人中核都市構想は完全に崩れましたが、積極的に進めてきた市長の責任についてどう感じておられますか。

2. 西濃圏域合併協議会は、その構想が崩れた今、まず解散させるべきです。その後、合併の意思のある自治体があれば、改めて合併協を設立させるべきではないでしょうか。

3. 新聞報道によれば、上石津町と墨俣町が合併の意思表示をしたと聞きますが、どちらの町も飛び地であり、行政上様々な問題が想定され、断るべきと考えますがいかがでしょうか。

2. 件名 台風23号による水害について

=要旨=

10月20日から21日にかけて台風23号による集中豪雨があり、市内の被害は床上浸水46棟、床下浸水703棟という大きな被害になり、その中でも荒崎地区の浸水被害が床上20棟、床下浸水122棟と被害が集中しました。今回の水害に関連して以下の質問を行います。

①20日午後5時半頃、大谷川洗堰より越流が始まりました。その時点では揖斐川の水位は2m程度でしたが、今回の大

谷川洗堰からの越流のメカニズムについて明らかにしてください。

②大谷川洗堰周辺に設置した仮土壌積みについて、地域の人の話では、土壌積みのために早くから内水浸水が起き、その上洗堰越流による浸水被害に遭い、そして、今回は水がいつまでたっても引かなかったという訴えがあります。その原因をお聞かせください。

③岐阜県の資料によりますと、平成14年7月の水害の後、県では洗堰周辺に輪中堤築堤などの検討を行っています。県は当然、大垣市長にも提示したと思いますが、なぜ、議会を含め、市民に公表しなかったのですか。

3. 件名 保育所の施設整備に関連して

=要旨=

①幼稚園児の留守家庭児童教室の募集中止に伴い、平成17年度の保育園児募集では5歳児の入園希望が増えており、保育室が足りなくなるのではと心配しています。入園状況と施設の対策についてお聞かせください。

②保育園で実施されている未就園児対象の「育児サロン」の日は、保育室を明渡し、入園児は職員室などで着替えや食事を行っている保育園があると聞きますが、本当でしょうか。その対応策をお聞かせください。

4. 件名 次世代育成支援計画策定にあたり

=要旨=

1. 合併を想定し、1市9町による次世代育成支援計画の策定委員会で進めてきましたが、合併が破綻した今、今後どのように進めていく予定ですか。

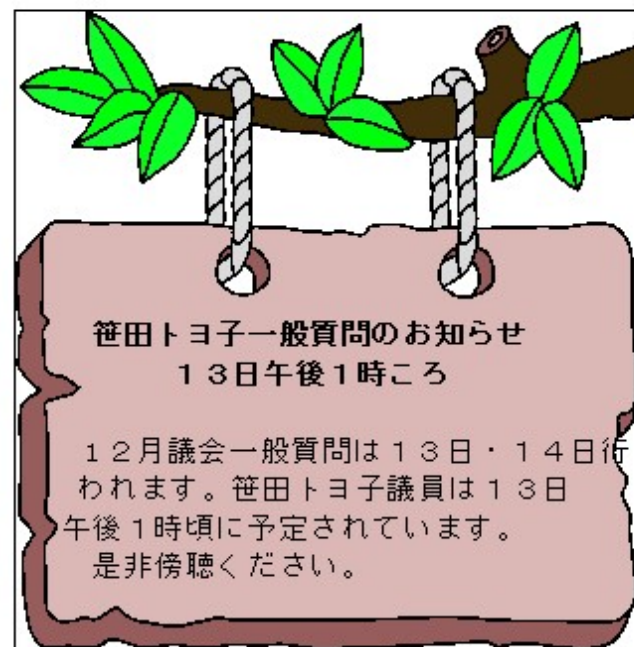
2. 「行動計画」には以下の内容を盛り込むよう提案します。

①児童センター（児童館）等の設置で、青少年の居場所づくりや地域の子育て支援事業の充実を。

②学童保育の充実・・・土曜日保育の実施など。

③安心して子育てに専念できるよう、保健、福祉、医療、教育に関して統合したサービス提供するため、相談窓口を一元化し、保健師がその役割を果たせる体制確立を。

④保育園の地域子育て支援センター事業の充実で、地域の子育て力量を高めましょう。



次世代育成支援 計画策定にあたり

滋賀県守山市の視察報告

次世代育成支援対策推進法に基づき、2004年度中にはすべての自治体で「行動計画」の策定が義務付けられました。モデル事業として一足早く「次世代育成支援対策地域行動計画」を策定した滋賀県守山市へ視察に行ってきました。

守山市の人口は、大垣市の半分で、7万人弱です。守山市の年少人口（0歳から14歳）の割合は16.9%で、合計特殊出生率も1.48です。大垣地域の場合、年少人口割合は14.8%、合計特殊出生率は1.37で、守山市より少子化が進んでいます。守山市は、転入などにより保育所の途中入園者が年間約150名にもなるなど、総人口および年少人口においても増加しており、子育て支援策が一定効果をあげていると感じました。

多彩な子育て支援事業

守山市子どもセンター協議会発行の「子どものための情報誌」を見ると、保育園や幼稚園に行っていない在宅の子どもとお母さん達を対象にした、遊びの教室や子育て講座・子育て相談などの事業がいくつか用意されていました。場所は保育園・幼稚園はもちろん保健センターや児童館などで、学童を対象にした事業もあわせると、85事業にも及ぶものです。

児童館が拠点となり地域の子育て支援や青少年の健全育成を支える

守山市には児童館及び児童センターが4箇所あります。ここでは、在宅の乳幼児を対象とした子育て支援事業などのほか、青少年の自主的な活動が展開されています。大型児童センターには、館長1名、主任1名、児童厚生員2名、家庭児童相談員1名が配置され、中高生を対象にした企画が盛りだくさんです。

保健師を核にした 子育て相談支援体制

守山市では地域担当の保健師が子育て相談の中心的な役割を担っています。担当地域で子育て支援を必要としている人の情報が入れば、必要に応じて訪問し、保健・福祉・医療・教育など各分野の専門家と連携して対処する支援体制ができていました。そして相談窓口は市民にわかりやすく一元化されていました。

保育所が地域の子育て支援の コントロールタワーに

各保育所で地域子育て支援センター事業を行い、保育所が子育て支援のコントロールタワーとなっています。子育て家庭の支援活動の企画・調整・実施を担当する職員を配置し、地域の既存の施設を使って、子育て支援事業の出前を行い、子育てサークルの育成など行うとのことです。

大垣市と守山市の比較

	大垣市	守山市
人口	150,417人	69,668人
合計特殊出生率	1.37 (大垣地域)	1.48
乳幼児人口	93,011人	48,055人
小学校生徒人口	88,955人	45,722人
保育所	27か所 3265人 (公立16,私立11)	11か所 1368人 (公立6,私立5)
幼稚園	19園 1517人	9園
学童保育所 (放課後児童クラブ)	留守家庭児童教室 17か所 どろんこクラブ1か所 866人 (幼稚園も含む)	児童クラブ9か所 (公設6,民設3) 395人
児童館など	こどもの城 1か所	児童センター 1か所 大型児童センター 1か所 児童館 2か所
子育て支援事業 保護者向けの子 育て講座や子ど も参加の遊び教 室など	★未就園児対象 子育てサロン (地区センター) 5か所 サタバパサロン 3か所 育見サロン(保 育所) 2か所 子育て交流プラ ザ(NPO) 常設	★未就園児対象 保育園 17事業 幼稚園 9事業 児童館など 18事業 ★世代間交流事業 11事業 ★その他(図書 館・保健センター・ 児童センターな ど) 29事業 ★公民館体験わ くわくワーク